

港 区 男 女 平 等 参 画 推 進 事 業
報 告 書

平成 28 年 2 月

主催：港区役所

企画・運営：名古屋みなと災害ボランティアネットワーク

港区男女平等参画推進事業 報告書

1. 講義内容	1
2. 当日グループワークまとめ	4
3. 当日の様子	8
4. アンケート	10
① アンケート回答	
② アンケートフリー回答	

講義内容

**H27年度 男女平等参画推進事業
(港区女性会)**

**災害対策の仕組み作り
クロスロードゲーム**

**巨大地震そのとき人は、どう動いたか？
宮城県閉上(ゆりあげ)地区**

➢住民5,600人の内700人が逃げ遅れ、犠牲に
➢NHK:聞き取り、アンケート調査を実施
○恐怖の瞬間をどのように迎えたのか？
○家族や隣人の安否の確認は？
○逃げようとしなかった人の心理は？
○地震から津波が来るまでの1時間10分を人はどう考え、どう動いたか？

地震から10分間

➢ほとんどの人は動かなかった。
➢地震が起きた時バスに乗っていた人の証言
○バスは左右の家にガンガンぶつかった。
○電柱はここまで揺れるのかと思うほど揺れた。
○4分揺れ続けた。
➢住民の証言
○電気はすぐにストップした。
○防災無線は使えなかった。
○ビルの外壁は崩れ落ちた。
○ビルや家のガラスは、ほとんど割れた。
○液状化現象が起こり、海水や砂が噴き上がっていた。

**そのとき、
人は何をしていたのか？**

➢証言
●家の扉が壊れ、壁が崩れた。自分は被害の少ない部屋に閉じこもり、壊れたステレオの足を修理していた。
●津波が来るときまで、片付けていた。
●津波が来たとき、道路は車で大渋滞、逃げ遅れた人が多数いた。歩いていた人も多かった。

正常性バイアス (先入観)

◆こんども、大丈夫
➢ある程度の危険は無視して、危険な状況にはないと思ひ込む。
◆ここは、大丈夫
➢人間は危険が迫っても避難したがない。
【韓国の地下鉄事故】
●地下鉄事故で火災が発生。
●スピーカーで「しばらくお待ちください」
●乗客は逃げ出さず、じっと待っていた。
●その結果200人が死亡。

愛他行動

➢逃げ出す人が増えた一方で、逃げずに町中を動き回る人が多数いた。
➢閉上3・4丁目だけで高齢者を救おうとして、避難誘導中に、7人が死亡
➢災害時、「今助けなければ、死んでしまう」と考え、自分の命が危ないとは思えない。





我々は災害にどう対応すべきか (群馬大学 片田教授)

- ◎想定にとらわれるな
- ◎最善を尽くせ
- ◎率先避難者たれ

クロスロードゲームとは

- 防災対策や災害発生時の判断に関して出題されます。
- 設問に対し、自分の意見をYESとNOのカードで示します。
- 設問に対する正解は示されず、なぜそう考えたのか、参加者同士で意見交換をします。

あなたは、川に近い住民

母(65歳)、夫、小学生の子供2人の四人家族。激しい雨が降り続いている。今洪水の危険があるとして地域に避難指示がでた。しかし、現在深夜12時

今すぐ 避難を始める？

YES...すぐ避難する

NO...しばらく様子を見る

あなたは 市民

防災のため、ふろの残り湯を浴槽にためておくといわれる。しかし、浴槽がかびるかもしれないし、湯あかがつくと掃除が面倒。それに滅多に災害なんてこない。

それでも 残り湯をためておく？

YES...ためておく

NO...ためておかない

あなたは 避難者

我が家には3日分の保存食と飲み水があります。しかし、避難所では多くの家族が保存食や水を持ってきていません。

あなたは避難所で、その食べ物と水を皆に提供しますか？

YES NO

あなたは 地域の役員

大きな地震が発生。大津波警報が発令になり、3.6mの津波が約100分後に到達との予報。

しかし、高齢者を始めとする住民に危機意識は薄く、津波避難ビルに避難しようとせず、1時間が経過した。

このまま避難の説得を続ける？

YES...できる限り説得する

NO ...自分が避難する

あなたは 避難所運営の役員

大きな地震発生後、避難所が開設されました。自宅が全壊の判定を受け、自宅での避難生活をあきらめた何人かの人がペット(犬や猫)を連れて避難してきました。

避難所として 受け入れますか？

YES...受け入れる

NO ...受け入れない

あなたは、避難所の役員

雑魚寝状態で、満員の体育館。
10代の女性から、性暴力をさける
ため笛がほしいと言ってきた。

笛を渡しますか？

YES **NO**

あなたは、避難所の役員

避難所のトイレは、男女別とし、
男女トイレの比率はせめて1:2に
してほしいと言ってきた。

女性用トイレを増やしますか？

YES... 1:2以上を確保する

NO ...男女別は可能、1:2は難しい

意見交換の時間（10分）

「クロスロードゲーム」で議論した内容
を基に、意見交換をお願いします。

個人・家庭での防災対策

避難所の運営について など

（自由に話し合ってください）

クロスロードゲームに参加していただき、
ありがとうございました。

各グループごとに感想など発表を
お願いします。

（2分以内をお願いします）

男女平等参画からの視点を考慮した 災害・防災対策

- 避難所に授乳室、更衣室などを確保する。
- トイレは男女別とし、比率は1:2以上とする。
- トイレ周辺は24時間照明する。
- 避難所内の警備をし、女性や子供を性被害から守るよう配慮する。

ま と め

- 「南海トラフ巨大地震は必ず来る」との覚悟が必要
- 備えに勝る防災なし（個人・家庭・地域）
- 避難所では一部の人に過度な負担がないように役割分担が必要。
- けが人や高齢者、障がいを持った方々、外国人そして、女性への配慮が求められます。
- 人手のいるところには、ボランティアとの連携を考慮しましょう。

グループワークまとめ

1. 深夜 12 時に避難するか	
YES	① 避難指示が出ているので避難する。 ② すぐ飛び出したら危ない。 ③ 一人暮らしの為他の人に迷惑かけられないので、早めに避難をする。 ④ 避難所が近くなので万が一のため、早めに避難する。 ⑤ 気象情報などに気を付け雨が降りつついている時は、早めに避難する。 ⑥ 避難準備情報、避難勧告、避難指示の順番がわからない。
NO	① 家族揃ってから避難する。 ② しばらく様子を見る。深夜に子どもと高齢者は危険である。 ③ 深夜ということと年寄りのため、途中転倒等でかえって危ない。 ④ 深夜であり暗い道路で、側溝など落ちて怪我などの心配がある。 ⑤ 深夜であり、動きたくない。2階に行けばいいと思う。
2. 残り湯をためておくか	
YES	① 火災用に水はためておく、トイレ用にためておく。 ② 風呂水を浄化し、使っている。 ③ 一人暮らしのため洗濯等に使う。 ④ 火事などの予防のためにためておく。 ⑤ 防災のため万が一に備える。 ⑥ 残り湯の使い方は、トイレ用、洗濯用に、袋で米を炊くこともできる。
NO	① 今迄の習慣で流してしまう。 ② いつも清潔にしておきたい。 ③ マンションのタンクに雨水をためてある。 ④ 今はためていないので今後考えるが、シャワーなのでためられない。
3. 食べ物と水を皆に提供するか	
YES	① 子どもに食べさせる。 ② 自分より持ってきていない人に分ける。 ③ 人道的に少しでも分けたい。 ④ 分けたいと思っても実際その場になった時にわからない。 ⑤ 食料は持っている人は全部出して分け合う。 ⑥ 1 週間分の備蓄が必要、自分が出せば、ほかの人も出してくれる。自分は食べなくても老人や子どもに。日ごろから仲良くしておく。 ⑦ 日ごろから持ち出しできるように、家に備蓄してあれば取りに行ける。(後からとりに来る) ⑧ 平等に分ける。お互いさま。少なくともわけあう。

	⑨ ペットボトルの水を持っていたら、紙コップを用意すると皆で分けられるので便利です。 ⑩ 一カ所に集めて少しずつ分ける。
NO	① 少しばかり出しても取り合いになる。 ② リーダーが信頼されるか？ ③ まず自分達が大事である。 ④ 気の毒で分けようと思うが長期避難と思うと分けられない。 ⑤ 不平等になる、皆さんにあたらない、勇気がいる。
4. 避難の説得を続けるか	
YES	① 一緒にいたい。(年配者、同居していれば) 2 階に避難する。 ② 自分が助かる時間内で出来るだけ説得する。 ③ やれるだけやって、動かない場合はやむをえず断念する。 ④ まだ時間があるから頑張る。 ⑤ 団地なので、上へ逃げる。 ⑥ おいて、避難すると後で後悔する。絶対最後まで説得する。避難所が近くなれば説得できる人を探して続ける。 ⑦ 歩行できない人のためにリヤカーを用意している。
NO	① 長くいると 2 人とも死んでしまう。 ② 1 時間説得しても聞かなければ、あきらめる。途中で皆さんに声をかけていく。 ③ 1 時間説得して聞けない人はそれ以上説得しない。 ④ 役員であってもまず自分を考える。 ⑤ 津波の大きさ時間がわからないために早めに避難する。
5. ペットを避難所に受け入れるか	
YES	① 家族同様なので条件つきで受け入れる。ペットコーナーを作る。受け入れ場所を作る。 ② 受け入れるが、アレルギー、喘息などの人のため避難所内部には入れない。 ③ 日ごろペットの取り扱いを話し合っている。 ④ 家族同様に行っているため受け入れる。 ⑤ 小型犬等は受け入れても、ほえないよう、また他人に迷惑にならないよう説得して受け入れる。 ⑥ 大型犬等は、場所等をつくって受け入れる。 ⑦ ペットをゲージに入れる。ペット用の場所を確保する。 ⑧ ペットを入れるには、条件をつける(普段から話し合っておく) ⑨ ゲージなどに入れて連れてくる。ペットは別の場所で分ける。 ⑩ それぞれの避難所で対応を考える。

NO	① ペットもストレスを感じているので入れない。 ② 避難所に入れない。 ③ アレルギーや嫌いな人もいるので入れない。 ④ 長期になる可能性もあるので受け入れない。 ⑤ 絶対受け入れない（かわいそうだけど）、それぞれの避難所で対応を考える。 ⑥ ペットを好きでない人、アレルギーの人、赤ちゃんなどに悪影響がある。
6. 笛を渡すか	
YES	① 女性全員に配る。 ② 若い女性でなくても笛が欲しい。 ③ 日ごろ携帯につけておく。 ④ 段ボールを仕切りにし防ぐ ⑤ せっぱ詰まった時のみ使用すると説明して渡す。 ⑥ 色んな用事などで、使用しないよう説明して渡す。 ⑦ 安心できるのであれば渡す。若い人は別に分ける。 ⑧ リーダーは、特に日ごろから持っている。どこで手に入れるか？ ⑨ ほかの場所に移動させる。（10代の女性） ⑩ 笛を持っているだけで護身用になる。
NO	① 深夜等で使用するとパニックになるのではないか。 ② 多数が希望したら希望に添えない。 ③ 段ボールの仕切りを作り保護する。 ④ 絶対渡さない。（犯人扱いはしたくない）おばさんたちで若い子の周りを固める。
7. 女性用トイレを増やすか	
YES	① トイレを増やす。 ② 公共施設の使用状況を見ても、女性用は行列になる倍増は必要である。 ③ 男性は、外でも出来るのではないか、女性用を増やす。 ④ 役員は、男性が多いので、無理と思う。男女共同にする方が良いと思う。 ⑤ トイレのドアに女性用、男性用と書く。
NO	① 女性トイレを使うのは朝が多い。数が少ない時は、役員が立会い使わせる。

意見交換

- ① 意識はあるが実行が難しい。
- ② 水は用意していき、幼児用食糧、水を用意する。
- ③ 賞味期間が過ぎても大切にする。
- ④ 水道水は3日以内有効期間です。
- ⑤ 防災意識は、高い人が多かったが、準備をしていない。
- ⑥ 耐震、家具転倒防止対応はほとんどしていない。
- ⑦ 備蓄品は用意しているが、賞味期限のことを忘れている。
- ⑧ 町内で災害時高齢者、弱者を誰が面倒を見るか、決めている町内もあった。
- ⑨ 避難所運営、自主運営がわかっていない。
- ⑩ 災害時、町内弱者をだれがどのように助けるか課題である。
- ⑪ 食べ物と水の提供については、みなさんの意見は活発でした。大多数はまず自分達のことを考えるでした。
- ⑫ 女性用トイレの問題は、一番の関心で、全員yesでした。
- ⑬ 4分間の意見交換では、思ったより多数の意見がでて、時間が足りないとは思わなかった。
- ⑭ 避難する場合、流木が多い。今は、流木の代わりに船やコンテナ、車が心配である。それでも外に出るか。自宅、3階、マンション、高いところに逃げる。
- ⑮ 運営は、女性リーダーも参加（家族の安全を確認してから）地域によっては、女性がなかなか入れないところもある。
- ⑯ 備蓄の期限切れ、家の中で奥の方にしまっているのを見直す。
- ⑰ 防災対策は、家具の転倒防止、食料の確保、家族の安否確認。
- ⑱ 避難所運営は、役員の指示に従う。

当日の様子



開会に先立ち、港区岩田区長からご挨拶をいただきました。

女性会 加藤会長から防災を行うことの大切さ、女性ががんばる港区であることを会員向けにお話しいただきました。



名古屋みなと災害ボランティアネットワーク高崎代表から、平成 27 年度港区男女平等推進事業 災害対策の仕組みづくりの講演を聞き、クロスロードゲームを行った。



クロスロードゲームでは、男女平等参画で考える避難所についての内容も盛り込み、参加者同士で課題について話し合った。



参加者の皆さんは、YES、NO について、どうしてかを意見交換し、いろいろな意見があることを体験した。



各グループ、活発に話し合われた。



グループの中の意見をまとめて、各班からの発表を行った。



最後に高崎代表よりグループワークの内容について講評を行い。阪神淡路大震災、東日本大震災、関東・東北豪雨の被災の実際や事例などを聞いた。

アンケート回答

アンケート回収数		36	実数
質 問		割合 (%)	
問1	男女平等参画(男女の平等と男女の参画)について、今までどのように感じ、行動していましたか？		36
1	非常に重要なことだと思っており、普段から意識して行動している。	39%	14
2	重要なことだと思うが、ふだんはあまり意識せず行動している。	61%	22
3	重要性も感じないし、意識もしていない。	0%	0
問2	防災や災害対応の場における「男女平等参画の視点」について、理解できましたか？		36
1	とてもよく理解できた	56%	20
2	まあまあ理解できた	44%	16
3	あまり理解できなかった	0%	0
4	全然理解できなかった	0%	0
問3	防災や災害対応の場において、男女平等参画が必要だと感じますか？		36
1	とても強く感じる	78%	28
2	まあまあ感じる	22%	8
3	あまり感じない	0%	0
4	全然感じない	0%	0
問4	本日のクロスロードゲームはいかがでしたか。		36
1	たいへん良かった	69%	25
2	良かった	31%	11
3	あまり良くなかった	0%	0
4	良くなかった	0%	0
問6	クロスロードゲームを通じて、男女平等参画の必要性を感じましたか？		36
1	とても感じた	75%	27
2	まあまあ感じた	22%	8
3	あまり感じなかった	0%	0
4	全然感じなかった	0%	0
5	無回答	3%	1

注：割合(%)は小数点第1位を四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない項目があります。

アンケート フリー回答

問5 問4の回答を選んだ理由を、具体的にご記入ください。

1. たいへん良かった、と回答した人

- ・むずかしかったけれど、大変いい答えが出て楽しかった。
- ・いろんな意見が聞けた
- ・いろいろな考え方、動き方を知る事が出来た。
- ・ボラネットの方の意見、お話が楽しかったです。
- ・YES、NOにかかわらず、いろいろな意見が聞けたので勉強になりました。
- ・情にほだされず、まず自分自身の命を大事にし、落ち着いたら他の方に手を貸すことだと思いました。
- ・楽しく出来た、地域に戻ってやりたい。
- ・人それぞれの意見が有り、参考になりました。
- ・災害は身近にせまっているので、意見もたくさん出た。
- ・理想と現実のむずかしさを感じた。現実になんか場になったらと思うと大変不安です。
- ・人の考えと自分の考えの違いがよく分かり、いろいろな視点から物事を考えないといけないことが分かった。
- ・考えさせられる事がたくさんあった、とてもいい勉強になりました。
- ・学区でいろいろ対策をしている所があり、参考になりました。
- ・自分の意見以外に他の人の意見も聞けて参考になりました。防災の事をもう一度考えてみたいです。
- ・学区でも同じような事で話し合いたいです。
- ・私達も学区もとても防災について勉強していて行動していきたいです。
- ・自分の身の回りの事は常に家族と隣人との話し合いが大切だと思った。
- ・連帯感が大事である。人の判断がいろいろで勉強が出来た。

2. 良かった、と回答した人

- ・短い時間だったのでもう少し時間があるといい。もっといろいろな立場の人とも話し合いたい。
- ・わかりやすかった。
- ・すぐ答える事はむずかしい。後で考えたらどうかな？と思った。
- ・勉強になりました。
- ・いろいろと参考になった。
- ・あらためて意識することができた。
- ・避難指示が出てすぐ避難するが、いつかなど考えさせられた。
- ・自分の考え、人の考えは違うと言う事を感じました。
- ・まだまだ自分の防災に対する考え方が甘いと思いました。

問7 その他、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

- このゲームは大変おもしろかったので、学区内とかPTA、子供会等でも取り組んで行なっていただきたいと思います。
- 本音と建前は違うのだと痛切に感じました。
- 学区でまたお願いできればと思いました。
- やはり本音と建前があり、いざとなったらどうなるか分かりませんが、やはり自分の生命は自分で守る事が一番と思いました。
- ありがとうございました。
- 災害の時はやはり男女平等で災害を乗り越えればいいと思いました。
- 自分の為にも笛を持っていた方が良い（どこで災害に会うか分からないので）と思いました。
- ペットは家族と同じですので受け入れたほうがいいと思います。
- 女性の立場の大切さが分かった。
- もっと色々な人にもこのような会に参加することができれば。
- 町内でもクロスロードゲームをやっていないので、やりたいと思いました。
- 1人でも多くの人に学んでもらいたい。